

はじめに このツアーのコンセプトは「同志社の原点をたどる旅」です

スケジュール（予定表）

10時 ザベリオ学園 出発

10時15分～10時30分 大龍寺（宮子さん）

10時40分～10時45分 福島県立博物館脇新島八重銅像

11時50分～11時 新島八重生誕の地碑と看板

（鶴ヶ城 車窓見学）

11時10分～11時30分 会津若松教会（片岡牧師）

11時50分 ザベリオ学園 到着

12時10分 会津若松文化センター到着

①ザベリオ学園 カナダの無原罪聖母宣教女会 ザベリオはザビエルのラテン語
聖母マリア信仰はカトリック（神父） ミサ・聖歌
偶像を崇拜しないのがプロテスタント（牧師） 礼拝・讃美歌
チャペルは集会場 チャーチは教会 ホテルの結婚式場はチャペル
ともにキリスト教主義学校 ただし同志社はプロテスタント

②大龍寺 宝雲山大龍寺（臨済宗妙心寺派） 増子大道住職
寛永20年（1643年）会津藩主保科正之開創 小笠原長時創建・保科正之中興
・「武家礼法の祖」と言われる小笠原長時の墓
・「天地明察」にも登場した和算家・暦学者の安藤有益の墓 安井算哲・関孝和 和暦
・新島八重がまとめた「山本家之墓所」 昭和6年9月 裏に「昭和六年九月合葬山本権
八女京都住新島八重子建之八十七才」とある 墓は京都若王子の同志社墓地
ただしその頃八重は病に臥せていた 前年に会津を訪れた折に依頼していた
平成29年6月14日 命日に合わせて八重の歌碑が建立される
たらちねの御墓のあとをとふことも今日をかぎりもなくほととぎす

③新島八重之像 NHK大河ドラマ「八重の桜」を記念して建立 2013年9月7日

④新島八重生誕の地碑 平成元年に同志社により建立 山本家邸宅跡
弘化2年11月3日（西暦1845年12月1日）～昭和7年6月14日

石碑には八重の代表歌「明日の夜は何国の誰かながむらんなれし御城に残す月かげ」が八重の自筆をもとに彫られている。

*ただし山本家跡が50mずれていたことがわかり、現在は正しい場所に立て看板あり

⑤鶴ヶ城（中は博物館）

- ・赤瓦の鶴ヶ城 明治7年に撤去 昭和40年（1,965年）に復元 最初は黒瓦だった平成23年（2011年）に黒瓦を赤瓦に葺き替え 大河ドラマの直前！ 震災にもあう葺名氏が築いた黒川城を蒲生氏郷が大改修し鶴ヶ城にし、地名も若松に変更した
赤瓦は鉄分を含むためこれによって寒さにも割れない丈夫な瓦になった
- ・「天上かげは変わらねど栄枯は移る世の姿 映さんとてか今もなおああ荒城の夜半の月」
- ・「今荒城の夜半の月変はらぬ光誰がためぞ 垣に残るはただ葛松に歌ふはただ嵐」
滝廉太郎作曲・土井晩翠作詞「荒城の月」歌碑あり

⑥会津若松教会

襄・八重は明治15年に訪問

襄は明治19年に再訪して最初の信徒14名に洗礼を授けた

明治24年に教会創立 東北伝道の拠点 代々同志社出身の牧師を派遣

その他

福島県立博物館

飯盛山（白虎隊の墓）・さざえ堂・戸ノ口堰洞穴（猪苗代湖から水を引く） 飯沼貞吉
会津武家屋敷（会津藩家老西郷頼母邸再現） 会津天満宮

- ・「なよ竹の風にまかする身ながらもたわまぬ節はありとこそ聞け」西郷智恵子
会津の天神様（張子人形） 太郎庵のお菓子 蒲生氏郷が人形職人を連れてきた
日新館（会津藩校） 寛文4年に創設した学問所（稽古堂） 水泳もできた
天文台跡 米代1丁目にあり 日本初の貞享暦は会津藩の人たちによって作られた
「日新館童子訓」序文 八重は幼い頃に暗記していた
夫人は三の大恩ありて生をとぐる也。父母これを生じ、君これを養ひ、師これを教ゆ。
父母にあらざれば生ぜず、君にあらざれば長ぜず、師にあらざれば知ず。父母の恩はきはまりなきこと天地とひとしく、父母なくんば何ぞ我あらん。

山本覚馬（八重の兄） 京都府顧問として京都の復興に力を注ぐ 設計図は『管見』

海老名りん 若松幼稚園創始者 会津女学校設立（現在の県立葵高校）

若松賤子 『小公子』の翻訳

大山（山川）捨松 鹿鳴館 日本赤十字社 徳富蘆花『不如帰』のモデル